

9月の園だより

《園長の言葉》

平成30年度 竜光保育園 第639号

日々天気予報に目を配りながら、終わりの見えない猛暑と例年になく発生数の多い台風に辟易しているのは、皆様も同じなのではないでしょうか。気象状況は致し方ありませんが、子どもたちの日々の体調に十分に留意しつつ、来たるべき月末の運動会本番に向けて、力を注いでいきたいと思っております。

さて、当園のみならず秋の運動会シーズンが到来しますが、近年よく指摘されるのが、子どもたちの運動能力や体力の低下であります。専門的にスポーツを学んでいる子どもたちは別として、学んでいない子どもたちの能力や体力が極端に低下しているという深刻な現状となっております。1番の要因としては、外遊びの減少で、ゲーム機やスマホ等の普及による室内遊びの増加などが、それに拍車をかけているようです。そんなことを考えつつ、当園での子どもたちの日常の動作に目を向けると、段差も傾斜もない箇所でもよく“転ぶ”子どもたちが増えていることに気がきます。さらにその際、“咄嗟に手をつくことが出来ず”に顔や頭等をケガするケースが増えています(※危険回避能力の低下です)。この一因として考えられるのが、幼児期の“ハイハイ”不足です。「子どもを早く立たせたい」という親の思いが強すぎたり、集合住宅の増加等によるスペースの減少で家具や壁等の距離が近くなり過ぎ、すぐにつかまり立ちをしてしまう等、昔に比べると“ハイハイ”をする時間が短くなっています。当園では、“ハイハイ遊び”を十分に行うことを心がけることにより、それが3歳以上児の体操教室での跳び箱遊や側転遊びにつながっていくように努めています。決して逆立ち歩きや派手な運動はなくとも、今後も少しずつかつ堅実に、無論個々の発達に応じて子どもたちの運動能力を養っていく考えです。(※その他年長さんは廊下の雑巾がけも頑張りますよ!!)

成長段階にあつて、ハイハイの時期は短いですが、その後の子どもたちのバランス感覚や反射神経の基礎をつくったり、体幹を鍛えることにもなる大切な時期です。ご家庭の限られた空間でも、イスの下や段ボールでトンネルを作ったり、少し遠くにお気に入りのおもちゃを置いてみるなどして、ハイハイを促す遊びは楽しめます。是非トライして下さい!

9月の行事予定

- 1日(土) 保育まつり(桜組参加)
- 4日(火) 体操教室
- 13日(木) 身体測定
- 14日(金) 誕生会
- 17日(月) 東谷敬老会(桜組参加)
- 18日(火) 体操教室
- 21日(金)~22日(土) 小運動会
- 25日(火) 体操教室(桜&梅組のみ参加)
- 29日(土) 運動会
- 下旬 避難訓練



8月の誕生会



《先生の広場》 vol.17 たにぐち しおり 先生



- ☆Q.1 好きな食べ物は?
A. “アイスクリーム”です。
- ☆Q.2 趣味は何ですか?
A. “K-POP鑑賞”で、最近は特に、BTS(防弾少年団)とRed Velvet(レッドベルベット)が好きです。
- ☆Q.3 保育士になって良かったことは?
A. 子どもたちの笑顔に元気を貰い、毎日の可愛い姿を見られる事です。

“新道寺小学校”の先生方による【一日保育士体験】。お忙しい中、有難うございました。

【不審者対策】では、本番さながら“さすまた”を持って先生方が勇猛果敢に不審者(誰でしょう?)に立ち向かいましたよ。



【東谷ランランランド】には地域の多くの皆様がご参加下さいました。



おすすめ絵本のコーナー

『あのね あのね』 作:えがしら みちこ 出版社:あかね書房



当園では車での送迎が大半なので自転車での会話は少ないかもしれませんが、園からの帰り道の時間は、結構大切だと思います。子どもたちは良い事も悪い事も日々の園での出来事をすぐに聞いて欲しいはずですよ。

子どもとより良い関係を築く絶好の機会ですよ。しっかりと会話して下さい。(事故に気をつけながら)後半の2ページに亘る子どもの笑顔がなんとも言えませんよ。

『みえるとか みえないとか』

作:ヨシタケシンスケ 監修:伊藤 亜紗 出版社:アリス館



人気の絵本作家が、『目の見えない人は世界をどう見ているのか』という本の作者に監修をうけ、「見えること・見えないこと」について掘り下げた絵本です。宇宙飛行士が、目が3つあったり手が多数あったり、また全盲の宇宙人などがいる様々な星に辿り着き交流を果たします。その中で自分との違いについて思いをめぐらします。子どもたちにはまだ難しいかもしれませんが、何となくでも障害の有無や個々の違い等について考える契機になるのでは…。

